

(別記)

2020年度水俣芦北地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、全耕地面積に占める主食用米面積の割合が、約53%で、転作作物については、飼料用米や、野菜等の作付面積が多く、土地利用型作物の担い手への集約が徐々に進んでいる。

しかしながら、主食用米の需要が減少する中で、他の作物の作付に転換を促進することで、水田面積の維持を図っていく必要がある。

また、農家の高齢化が進んでおり、農家戸数の減少が見られるとともに、不作付地の拡大が進んでいる。こうした中、水稻作付面積の維持が課題となっている。

2 作物ごとの取組方針等

地域内の約1,300ha(不作付地を含む)の水田について、敵地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

(1) 主食用米

主食用米は、農業者の経営安定の観点から、需要に応じた生産を確保する。前年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ、米の生産を行う。

また、県産米については、食味ランキング等により高い品質水準にあることが証明され、現状では、供給量を超える需要があり、業務用向けには多収品種ややまだわら、食味での付加価値流通には、ヒノヒカリ・森のくまさん・くまさんの輝きと、流通形態に合わせた生産を行い、期待される品質(食味・外観・価格等)の維持・向上を図り、需要にきめ細かに対応することで生産を維持する。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

飼料用米を転作作物の中心作物に位置付け、産地交付金を活用し担い手への作付集約を行うとともに当該地域の主力な主食用米品種であるヒノヒカリと作期の重ならない多収品種ミズホチカラを推進し、生産面積の維持を図る。

また、飼料用米収穫後の稲わら利用の取組(耕畜連携)についても支援し、取組の定着を図る。

イ WCS用稲

畜産農家との連携を推進しながら、需要に見合った生産量を確保する。

(3) 麦、大豆、飼料作物

麦と大豆については、主に直売所等で加工・販売されていることから、今後も需要に応じた作付を推進する。

飼料作物については、畜産農家の自家利用中心の作付であるため今後も耕畜連携の推進とともに作付を維持する。

(4) そば、なたね

そばについては、地域の振興作物（日本一早い新そば街道）としてPRしていることから産地交付金を活用して、水田での栽培面積の維持・拡大を図る。

(5) 高収益作物（園芸作物等）

ア たまねぎ

たまねぎについては、地域の重点品目として位置付け、産地交付金を活用する。「貴錦」、「浜育」といった品種を中心に作付けを推進し、機械化体系の確立を図りながら、作付面積の拡大を目指す。

イ 花き

花きについては、主力品目であるストックを中心にホオズキなど様々な品種の栽培を推進し、病害虫等の発生を抑えるため、エコロジアル消毒の継続試験、生物農薬の導入試験等を行いながら、生産面積の拡大を目指します。

ウ その他地域振興作物

その他地域振興作物（たまねぎ・花きを除く）については、農業者の所得の最大化に向け、産地交付金を有効に活用しながら、特色ある産地づくりを推進する。

(6) 畑地化の推進

畑地化の推進については、高収益作物の作付推進の維持・拡大を図る。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面 積 (ha)	2020 年度の作付目標面 積 (ha)	2021 年度の作付目標面 積 (ha)
主食用米	683.7 3234t	700 3311t	700 3325t	700 3311t
飼料用米	17.85	20	20	22
WCS 用稲	14.4	20	14	22
麦	0.69	0.8	0.85	0.8
大豆	1.04	1.2	1.3	1.2
飼料作物	5.2	6	6.5	6
そば	2.4	2.5	3.2	2.6
なたね	0.4	0.5	0.81	0.5
その他地域振興作物	89.2	93	95	95.5
野菜				
・たまねぎ	13.9	15	15.5	16
・花卉	5.4	6	6.5	6.5
・その他野菜	69.9	72	73	73

※主食用米の当年度作付予定面積及び 2021 年度の目標値において使用した単収は

473kg/10a

※主食用米の 2020 年度作付目標値において使用した単収は 475kg/10a

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
				2019 年度	2020 年度
1	たまねぎ（基幹）	重点品目作付助成 （基幹）	作付面積	10.8ha	20ha
2	花き・花木（基幹）	重点品目作付助成 （基幹）	作付面積	4.5ha	6ha
3	飼料用米・飼料作物・WCS用稲	担い手加算（基幹）	面積拡大	23.6ha	25ha
			飼料用米 収量	484kg/10a	600kg/10
			飼料作物 収量	3,367kg/10a	3,500kg/10a
			WCS用稲 収量	1,269kg/10a	1,490kg/10a
4	わら利用（飼料用米） 資源循環（飼料作物・WCS用稲）	耕畜連携の取組（基幹） （わら利用・資源循環）	取組面積	11.2ha	14ha
			実施率	30.4%	42%
5	野菜（基幹）（たまねぎ・花きを除く）	地域振興作物への助成 （基幹）	作付面積	14.7ha	21ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。